

すべてのステークホルダーとの責任ある対話

オムロンは「経営のスタンス」の中で、「すべてのステークホルダーと責任ある対話を行い、強固な信頼関係を構築します」と宣言しています。ステークホルダーとの対話を通じた信頼関係は、オムロンの持続的な成長にとって欠かせない資産であり、ソーシャルニーズの創造をしていくために不可欠な要素です。私たちは、すべてのステークホルダーとの責任ある対話に取り組み、持続的な企業価値の向上と、事業を通じた社会的課題の解決に取り組んでいます。

ステークホルダー	主な取り組み	コミュニケーション手段	活動実績例
お客様	オムロングループは、事業を通じた社会的課題の解決を目指し、より良い商品・サービスを提供しています。	営業活動を通じたコミュニケーション	制御機器事業のオートメーションセンタ(ATC)36拠点を通じたお客様との共創。 2022年度実績:アプリケーション・エンジニア1740名体制を構築(2016年度比29.9%)。
		カスタマーサポート	制御機器事業:世界40カ国150拠点以上のサポートネットワークにより、お客様のグローバル競争力向上に貢献。 ヘルスケア事業:コロナ禍に伴い、体温計・血圧計の問い合わせや、webサイトの「よくあるご質問」へのアクセスが倍増。webサイトの導線や、回答内容の改善に注力。2022年度は中国において98.3%の満足度評価を取得。
		ユーザーモニタリング	商品の企画開発段階および発売後にお客様との接点を設け、モニター調査を実施し、商品の利用状況やお客様を取り巻く環境を正しく理解することで、より使いやすく、精度の高い商品を開発。
		展示会	「中国国際輸入博覧会2022(CIIE)」出展を通じたオムロンブランドの認知拡大。「オートメーションで社会的課題を解決するイノベーション企業」としてのメッセージを発信。
取引先	オムロングループは、グローバルに調達活動を行っており、仕入先様と共にサプライチェーン上のサステナビリティのレベルアップに取り組んでいます。	サステナビリティセルフチェック	仕入先様自身によるサステナブル調達ガイドラインのセルフチェックの実施と査定・監査の結果、サステナビリティリスクが特定された仕入先様への改善計画の立案要請。2022年度は、グローバルの仕入先様356社の遵守状況を確認し、77社に対し是正行動を実施。
		第三者基準での評価	RBA*の評価ツールを用いた自主チェックの実施。2022年度は、全社重要仕入先様69社で実施し、RBA Corporate Level SAQ評価でのLOWリスクレベルを100%達成。*RBA: Responsible Business Alliance(責任ある企業同盟)
		調達BCP	全仕入先様の新規部品を発生都度調査。部品の最新の生産地情報を漏れなく管理し、有事に、全部品が一か月以内に調達を再開できることを目標に、部品毎の調達リスク軽減を実施。
		環境負荷低減に寄与する「グリーン調達」	グリーン認定・更新の実施。2022年度はさらに62社を認定し、累計3188社が評価完了。有害化学物質を含まない材料を積極的に採用し、サプライチェーン上の環境負荷低減に寄与。
		責任ある紛争鉱物調達	業界標準規格(RMI)の紛争鉱物調査帳票(CMRT)を採用し、2022年度は、オムロングループが過去2年間に購入した部材を対象にグローバルの仕入先様281社の調査を実施。環境破壊・人権侵害に及ぼさない調達を推進。
社員	オムロングループは、社員の能力や情熱を解き放ち、思う存分に発揮できる企業づくりに取り組んでいます。	VOICE (グローバル社員エンゲージメント調査)	2022年度は、オムロングループ全社員20603人(生産ラインを除く)に対し調査実施。(調査は2年ごとに実施) 回答率91%/フリーコメント数38500件超。
		TOGAグローバル大会 (The OMRON Global Awards)	ゴールド賞・特別賞に輝いたチームが世界各地から本社がある京都に集い、企業理念の実践を通じたチャレンジを役員、社員に対して共有し、共感と共鳴の輪を広げるイベント。2022年度はリアルとオンラインのハイブリッドで開催。社内外から11000人以上が参加。
		経営幹部(会長・社長)との直接対話の場 「企業理念ミッションリーダイアログ」 「The KURUMAZA」	企業理念の実践を組織に根付かせるために社員との直接対話を実施。ミッションリーダイアログは2022年度に海外を含め8拠点で実施。リーダー層や若手社員を中心に、オンラインも含めて500名以上が参加。
		健康経営宣言「Boost5プロジェクト」	社員の健康を重要な経営基盤として捉え、健康状態の見える化・分析に基づいて、社内外のWEBサイトで情報を発信。
株主・投資家	オムロングループは、「透明性の高い経営の実現」を目指し、株主・投資家との双方向コミュニケーションに努めています。	決算説明会/ESG説明会/個別面談	決算説明会(4回)、ESG説明会(投資家・アナリスト、報道関係者、その他大学など185名参加)、機関投資家との面談(約600件)をオンラインなどで開催。従来同様の透明性の高いIR活動を実現。
		定時株主総会	オンライン配信を実施(2022年6月23日)。会場への来場者85名、ライブ配信視聴124名(株主に限定)。議決権行使率は高水準の88.6%。
		IR関連冊子の発行	統合レポート、株主通信などIR冊子の発行による積極的な情報開示を実施。さらに有価証券報告書は記載を充実させ(価値創造ストーリー、サステナビリティ目標・結果、リスク情報などを記載)、海外投資家からの要望も多い英語版も発行するなど、幅広い投資家層への情報開示を強化。